

平成 20 年度における操業中の各事業の進捗状況について

1. 概況

平成 20 年度は、平成 19 年度までに操業を開始している北九州、豊田、東京及び大阪の 4 事業に加え、5 月から北海道事業が操業を開始し、全 5 事業所で PCB 処理を行っている。

各事業の概況は以下のとおり。

(1) 北九州第 1 期事業

平成 16 年 12 月の操業開始以来、概ね順調に操業を行っている。

北九州市内の処理可能なトランス・コンデンサの処理を概ね完了し、18 年度途中から福岡県内に対象地域を拡大して処理を行っている。

また、19 年 5 月からコンデンサ処理ラインの操業形態を変更し、コンデンサ処理能力の向上を図っている。

20 年 12 月より、1 期 2 期連携工事のため操業停止中。

(2) 豊田事業

平成 17 年 9 月の操業開始後、同年 11 月に PCB 漏洩事故を起こし、18 年 7 月まで操業を停止して、原因究明及び再発防止対策を講じた。操業再開後、設備不具合により 19 年 2 月から 6 月まで運転を停止し、不具合箇所の設備改造等を実施した。運転再開後は、概ね順調に操業を行っている。

(3) 東京事業

平成 17 年 11 月の操業開始後、18 年 3 月及び 5 月に PCB 漏洩事故を起こし、同年 10 月まで操業を停止して、原因究明及び再発防止対策を講じた。操業再開後、気液分離槽天板のへこみトラブル等により、処理量が低迷していたが、改善策を実施し、徐々に処理量を増加させているところである。

(4) 大阪事業

平成 18 年 10 月の操業開始以来、概ね順調に操業を行っている。

(5) 北海道事業

平成 20 年 5 月の操業開始以来、概ね順調に操業を行っている。

2. 処理実績

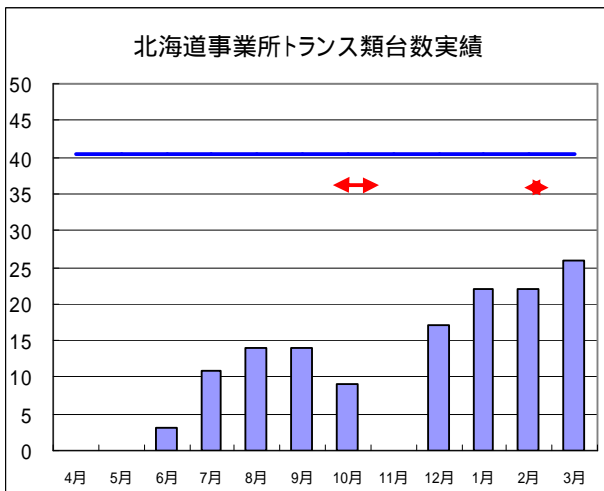
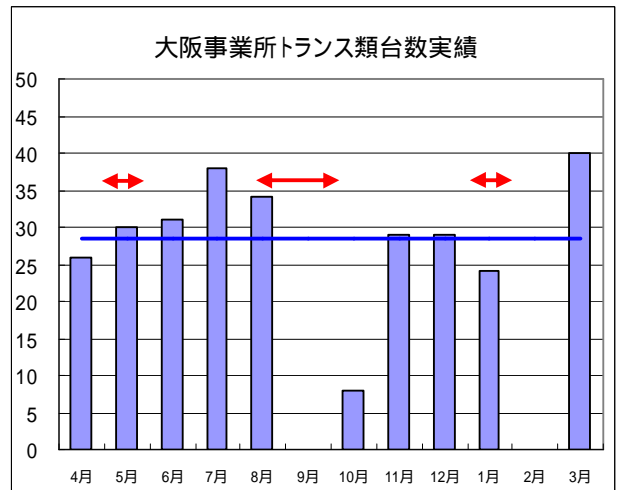
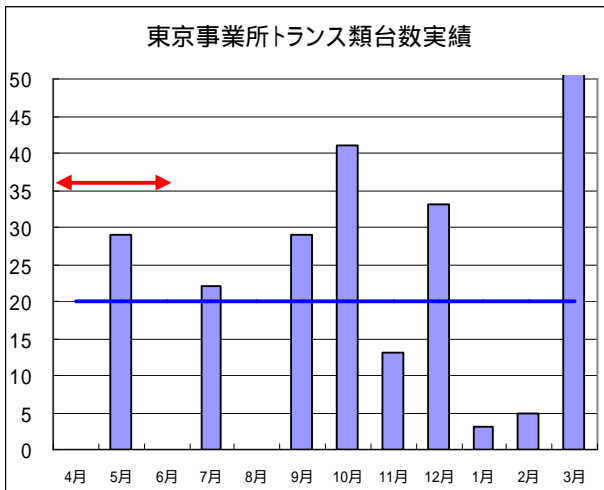
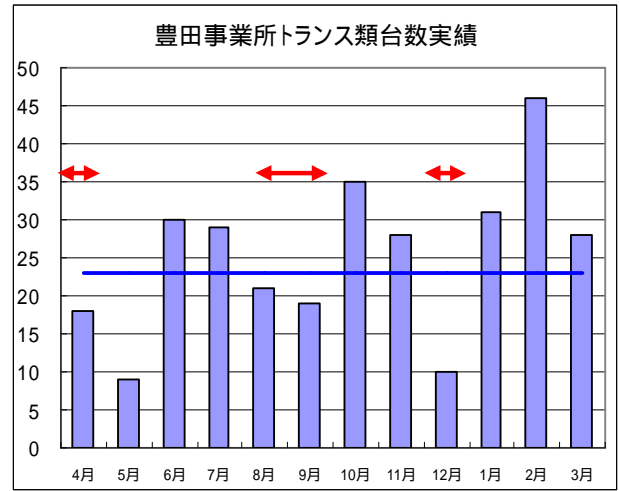
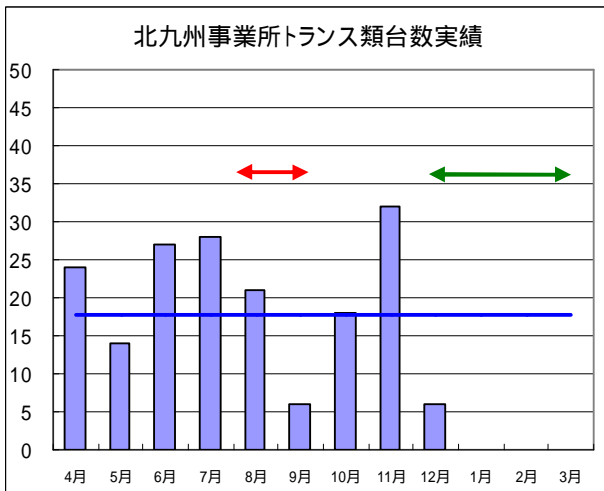
平成 20 年度（20 年 4 月～21 年 3 月）に、5 事業合計で、トランス類を 1,145 台、コンデンサ類を 14,174 台、PCB 油類を 379 本処理し、655.4 t の PCB を分解した。

試運転開始後これまでの処理量の合計は、トランス類 約 2,800 台、コンデンサ類 約 31,000 台、PCB 油類 約 860 本、PCB 分解量 約 1,400 t である。

各事業の平成 20 年度月別処理実績を図 1 に、これまでの各事業の処理実績を表 1 に示す。

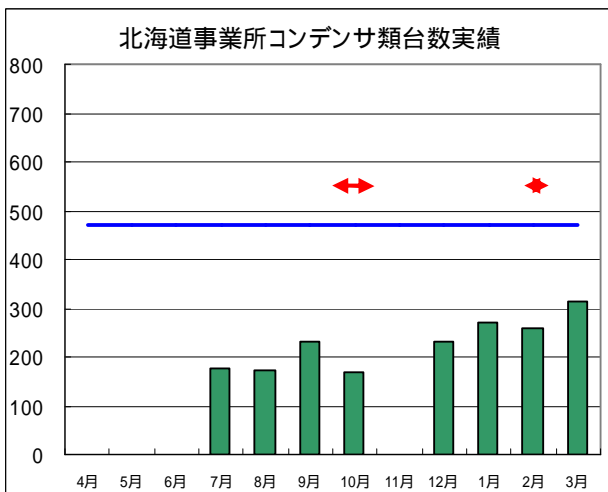
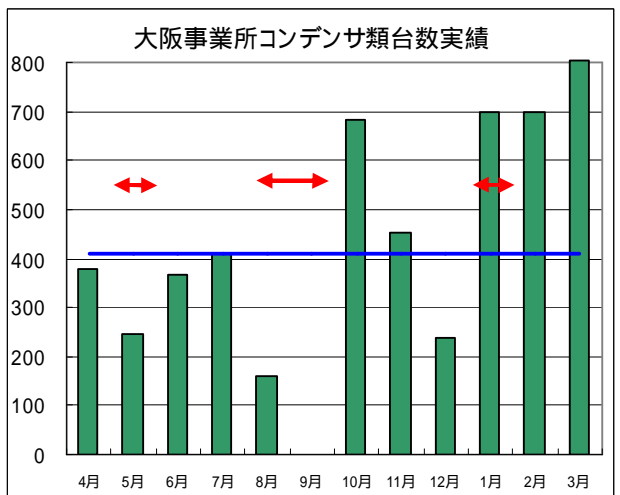
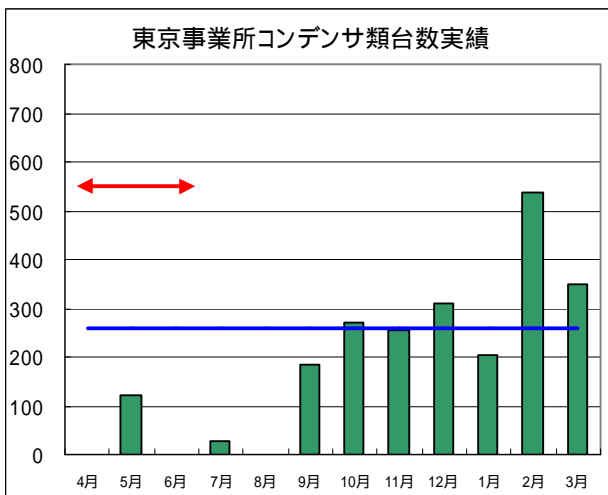
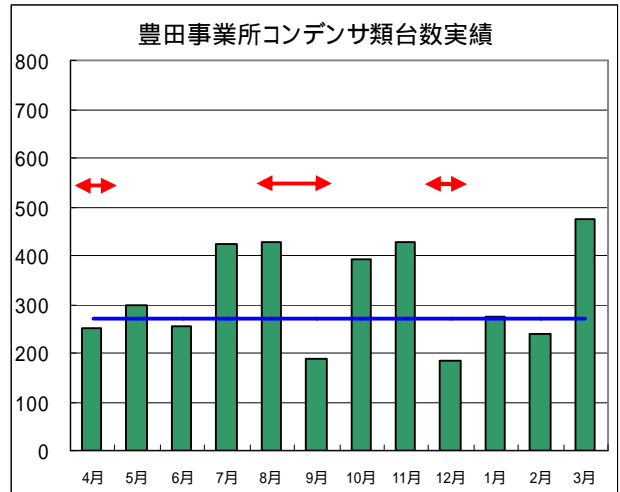
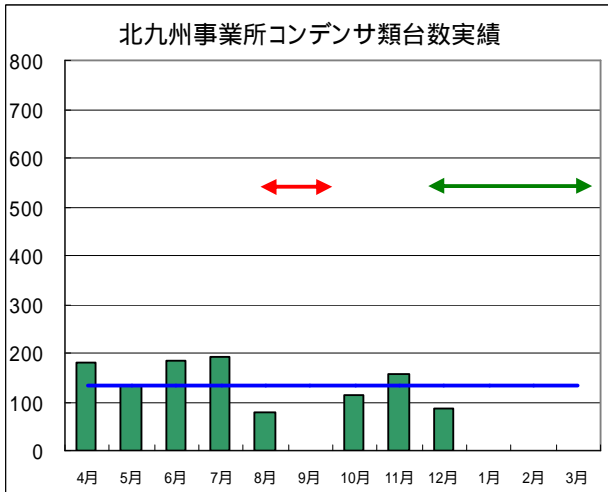
図1 平成20年度月別処理実績

トランス類



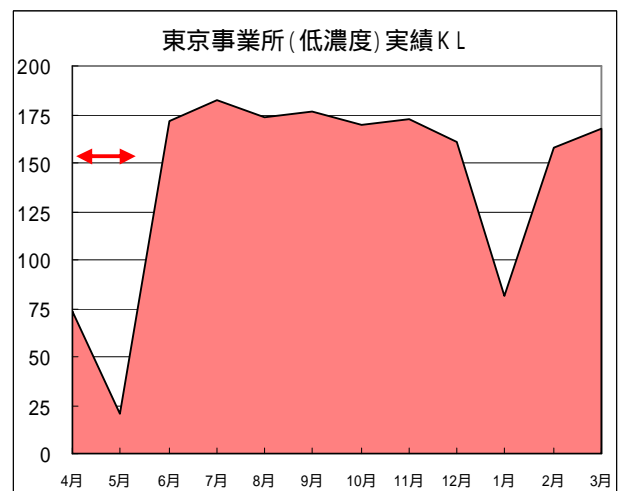
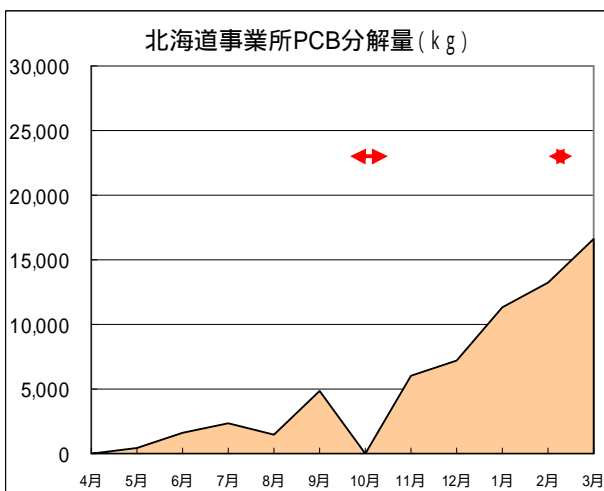
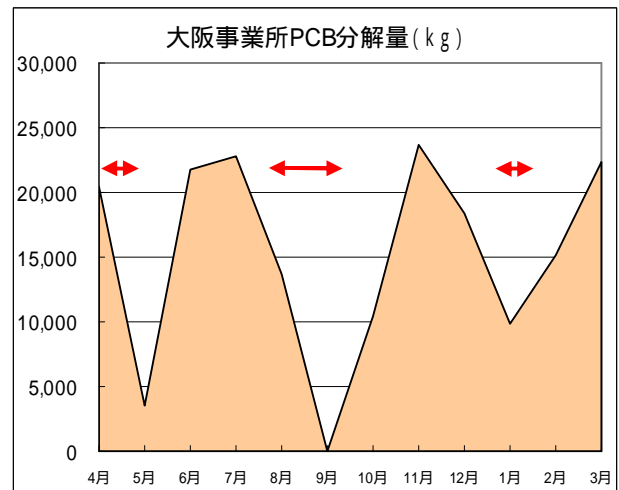
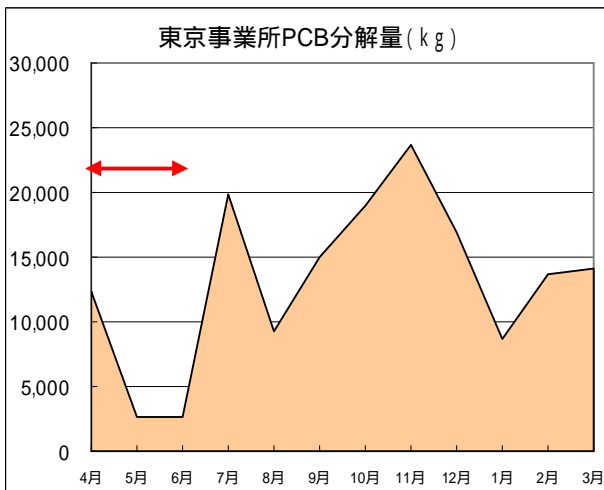
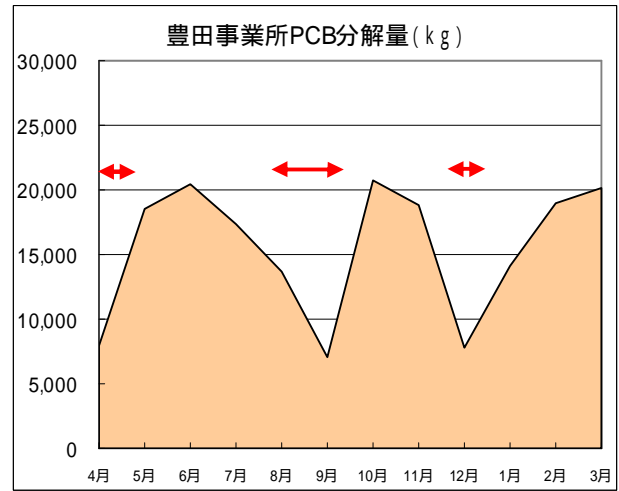
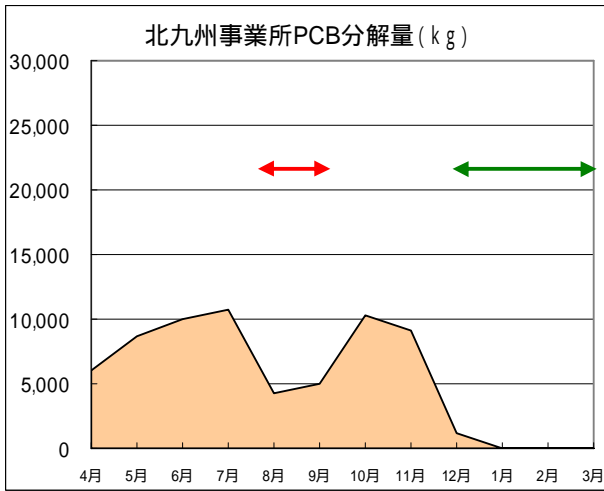
↔ : 定期点検等、 ↔ : 北九州1期2期連携工事による運転停止 — : 処理計画台数

コンデンサ類



↔ : 定期点検等、 ↔ : 北九州1期2期連携工事による運転停止 — : 処理計画台数

PCB 分解量



↔ : 定期点検等、 ↔ : 北九州 1 期 2 期連携工事による運転停止
 : 東京事業所 (低濃度) の実績は、P C B 分解量ではなく絶縁油の容量。

表1 各事業の処理実績

| 事業 | 廃棄物の種類 | 単位 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 合計 | (内試運 転) | 21年度 計画値 |
|-----|--------|----|------|-------|-------|-------|--------|---------|------------|-------------|
| 北九州 | トランス類 | 台 | 50 | 239 | 241 | 214 | 176 | 920 | (20) | 272 |
| | コンデンサ類 | 台 | 200 | 755 | 1,038 | 1,595 | 1,124 | 4,712 | (138) | 4,361 |
| | PCB油類 | 本 | 13 | 63 | 38 | 22 | 6 | 142 | (12) | 0 |
| | PCB分解量 | t | 9.5 | 55.8 | 67.7 | 78.6 | 65.2 | 276.7 | (3.2) | - |
| 豊 田 | トランス類 | 台 | | 49 | 77 | 191 | 304 | 621 | (14) | 271 |
| | コンデンサ類 | 台 | | 1,185 | 1,605 | 2,289 | 3,836 | 8,915 | (588) | 3,887 |
| | PCB油類 | 本 | | 33 | 1 | 15 | 30 | 79 | (33) | 44 |
| | PCB分解量 | t | | 31.5 | 63.7 | 115.8 | 185.6 | 396.6 | (4.6) | - |
| 東 京 | トランス類 | 台 | | 119 | 0 | 82 | 238 | 439 | (24) | 314 |
| | コンデンサ類 | 台 | | 451 | 46 | 687 | 2,256 | 3,440 | (92) | 3,990 |
| | PCB油類 | 本 | | 74 | 0 | 69 | 233 | 376 | 0 | 240 |
| | PCB分解量 | t | | 30.7 | 26.0 | 52.4 | 157.8 | 266.9 | (1.9) | - |
| 大 阪 | トランス類 | 台 | | | 76 | 290 | 289 | 655 | (20) | 347 |
| | コンデンサ類 | 台 | | | 1,941 | 4,875 | 5,136 | 11,952 | (370) | 5,500 |
| | PCB油類 | 本 | | | 52 | 53 | 87 | 192 | (32) | 88 |
| | PCB分解量 | t | | | 33.9 | 165.7 | 181.9 | 381.5 | (14.2) | - |
| 北海道 | トランス類 | 台 | | | | 19 | 138 | 157 | (19) | 477 |
| | コンデンサ類 | 台 | | | | 224 | 1,822 | 2,046 | (224) | 5,574 |
| | PCB油類 | 本 | | | | 47 | 23 | 70 | (47) | 0 |
| | PCB分解量 | t | | | | 11.6 | 65.0 | 76.6 | (11.6) | - |
| 合 計 | トランス類 | 台 | 50 | 407 | 394 | 796 | 1,145 | 2,792 | (97) | 1,681 |
| | コンデンサ類 | 台 | 200 | 2,391 | 4,630 | 9,670 | 14,174 | 31,065 | (1,412) | 23,312 |
| | PCB油類 | 本 | 13 | 170 | 91 | 206 | 379 | 859 | (124) | 372 |
| | PCB分解量 | t | 9.5 | 117.9 | 191.3 | 424.0 | 655.4 | 1,398.2 | (35.6) | - |

(注)・処理実績は中間処理完了時点のもの。()は試運転時に処理したもの。

- ・四捨五入により合計値があわない場合がある。
- ・各事業の初年度処理実績には、試運転時に処理した量を含む。
- ・各事業の処理実績には、試験用に自社廃棄物として処理した機器を含む。
- ・PCB油類は、ドラム缶(200)により搬入及び処理された数量。

平成21年3月までの処理実績

表 2

| トランス類 | 累計処理台数 | 登録台数 | 処理進捗率 | 処理開始時期 |
|---------|--------|--------|-------|----------|
| 北九州事業所 | 920 | 3,283 | 28.0% | 平成16年12月 |
| 豊田事業所 | 621 | 2,430 | 25.6% | 平成17年 9月 |
| 東京事業所 | 439 | 4,190 | 10.5% | 平成17年11月 |
| 大阪事業所 | 655 | 3,260 | 20.1% | 平成18年10月 |
| 北海道事業所 | 157 | 4,183 | 3.8% | 平成20年 5月 |
| JESCO全社 | 2,792 | 17,346 | 16.1% | |

| コンデンサ類 | 累計処理台数 | 登録台数 | 処理進捗率 | 処理開始時期 |
|---------|--------|---------|-------|----------|
| 北九州事業所 | 4,712 | 40,416 | 11.7% | 平成16年12月 |
| 豊田事業所 | 8,915 | 44,708 | 19.9% | 平成17年 9月 |
| 東京事業所 | 3,440 | 64,828 | 5.3% | 平成17年11月 |
| 大阪事業所 | 11,952 | 57,959 | 20.6% | 平成18年10月 |
| 北海道事業所 | 2,046 | 50,002 | 4.1% | 平成20年 5月 |
| JESCO全社 | 31,065 | 257,913 | 12.0% | |

| PCB分解量 | 累計処理済PCB(t) | 処理対象量(t) | 処理進捗率 | 処理開始時期 |
|---------|-------------|----------|-------|----------|
| 北九州事業所 | 277 | 2,251 | 12.3% | 平成16年12月 |
| 豊田事業所 | 397 | 3,817 | 10.4% | 平成17年 9月 |
| 東京事業所 | 267 | 4,491 | 5.9% | 平成17年11月 |
| 大阪事業所 | 381 | 4,030 | 9.5% | 平成18年10月 |
| 北海道事業所 | 77 | 3,844 | 2.0% | 平成20年 5月 |
| JESCO全社 | 1,398 | 18,433 | 7.6% | |

累計処理台数や分解量は、中間処理ベース。
 登録台数は、JESCOの早期登録・機器登録台数(平成21年3月末現在)。
 PCB分解量の処理対象量は、JESCO処理施設発注時に見積り、
 特記仕様書に記載した推計値。

図 2

